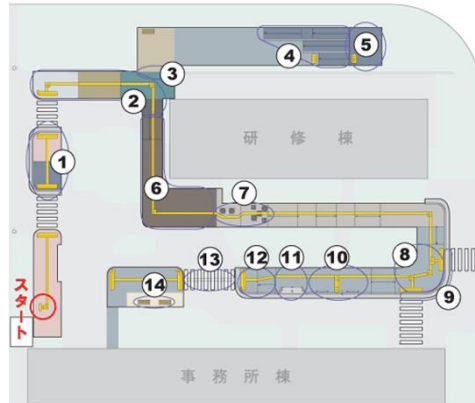


中部技術事務所におけるバリアフリー体験歩道施設 国土交通省 中部地方整備局

中部技術事務所構内には、バリアフリー体験歩道施設があり、開庁日の午前10時から12時まで、および午後2時から4時まで、体験参加の受付をしています。

中部技術事務所HP バリアフリー歩道体験【<https://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/barrierfree/index.html>】



視覚障がい者体験

【体験者の感想】
目が見えない状況での歩行の怖さ、誘導ブロックの重要性を実感した。

介助者と誘導ブロックの上を歩く視覚障がい体験



誘導ブロックの上に
自転車や看板があると危険です

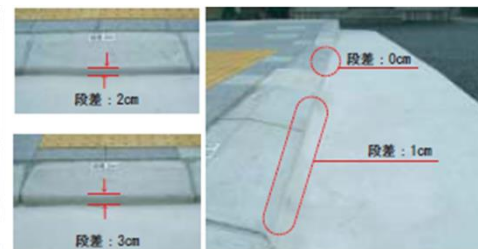
体験メニュー 14種類

- ①透水性舗装
- ②誘導ブロックと舗装材の輝度比
- ③グレーチング(側溝のふた)
- ④スロープ(坂路)
- ⑤車いすの回転スペース
- ⑥振動の少ないブロック舗装
- ⑦誘導ブロックとマンホール
- ⑧交差点付近の誘導ブロック
- ⑨横断歩道に接続する歩道と車道の段差
- ⑩バス停
- ⑪車両乗り入れ部
- ⑫斜めの誘導ブロック
- ⑬視覚障がい者用横断帯(エスコートライン)
- ⑭ユニバーサルデザインベンチ

車いす体験

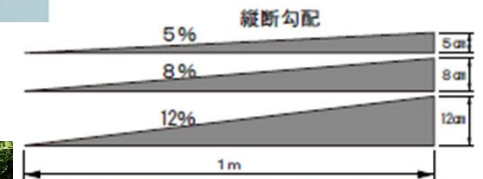


車いすによる⑨段差(0・1・2・3cm)走行体験



【体験者の感想】
体験者からは2cmの段差でも容易ではなく、車いす走行は思っているより困難だった。

車いすによる④スロープ(坂路:5・8・12%)走行体験



<令和5年度における体験実績>

小学生、中学生、自治体の方など、計145名の方に体験していただきました。

小さな段差や傾斜が障がい者の方にとっては大きな障害になることを多くの方に実感していただき、今後の業務や障がい者と接する機会に役立てたいとの感想もいただきました。

【体験者の感想】
一番緩い勾配でも車いすだと自力で登るのが大変だった。